

# Press Release



<<報道資料>>

2014年1月24日

日本コンピュウェア株式会社

## Gartner 社の APM Magic Quadrant レポートで コンピュウェアが 4 年連続で「リーダー」に選定

※当資料は、コンピュウェアコーポレーションが米国時間 2013 年 12 月 20 日に発表した報道資料の抄訳です。

※本文中のリンク先のページはすべて英語表記です。

米国ミシガン州デトロイト - 2013 年 12 月 20 日発表 - コンピュウェアコーポレーション (NASDAQ: CPWR) は、本日、Gartner 社がアプリケーションパフォーマンス監視 (APM) の *Magic Quadrant* レポート(注 1)において、コンピュウェアを 4 年連続で「リーダー」に位置付けたことを発表しました。2010 年に同報告書が発行されて以来、「リーダー」に位置付けられ続けているベンダーは他にありません。さらに、コンピュウェアは 3 年連続で、APM Magic Quadrant の「ビジョンの完成度」の最高位に位置付けられました。

コンピュウェアの APM ビジネスはイノベーションの最先端で成長を続け、急速に市場シェアを拡大する一方で、APM 市場において、その競争力をより強化し続けています。

Gartner 社によれば、可用性とパフォーマンスを監視するツールの需要によって市場成長とイノベーションが加速し(注 2)、これによって、APM の各ツールの需要とその重要性もここ数年で急激に高まっています。アプリケーションやインフラがより複雑かつダイナミックになり、さらなる抽象化層(たとえば仮想化、SDN、抽象化 API)が導入される現状において、この傾向は今後も續くだろうとしています(注 3)。

APM ソフトウェアライセンスおよび初年度サービス契約にかかる支出額は、2013 年末までに全世界で約 21.2 億ドルに達すると Gartner 社は見込んでいます。2012 年の支出額 20.1 億ドルに対し 5.4% の増加で、2011 年～2012 年の増加率 5.8% に対し、減速していることがわかります(注 1)。

コンピュウェアの APM 事業部のジェネラルマネージャである John Van Siclen は次のように述べています。

「Gartner 社によってコンピュウェアが 3 年連続で“ビジョンの完成度”の最高位に位置付けられたこと、また 2010 年以降全ての APM Magic Quadrant でリーダーの座を維持する唯一の企業であることを、当社は誇りに思っています。いくつかの大手ベンダーがリーダーの地位を失った今年、『従来の』APM ツールがもはや現在のビジネスやテクノロジの要求に対応しきれないことが証明されました。市場が求めているのは新世代の APM アプローチであり、当社はこの点においてリーダーと認められているのです。」

過去 6 か月間だけを見ても、コンピュウェアが発表した業界初の各サービスは、APM による問題解決手法を劇的に変えてきました。

- [PureStack® Technology](#) は、IT インフラが重要なビジネスアプリケーションのパフォーマンスにどう影響を及ぼすかを明らかにすることで、APM の可能性をさらに拡大させます。特許取得済の [Compuware dynaTrace PurePath Technology](#)®と併用することで、PureStack はゲストとホストのインフラ健全性を、個々のアプリケーショントランザクションおよび影響を被るエンドユーザとリアルタイムで直接相關させます。これは、アプリケーションオペレータがインフラの問題による影響を、ユーザ体感およびビジネス面での業績という視点で迅速に測れるようにする、業界初の APM ソリューションです。
- コンピュウェアの [APMaaS Platform](#) に dynaTrace Real User Monitoring が加わり、業界最強のユーザ体感管理ソリューションが実現しました。このイノベーションにより、実ユーザ、サードパーティサービス監視やビジネスインパクト分析といったユーザ体感管理ソリューションのラインアップが、全てオンデマンドのソリューションとして完全に揃います。
- Citrix、Oracle、SAP、そしてウェブアプリケーション向けの比類なき分析機能で[ネットワーク分析手法を用いたアプリケーション監視\(AA-NPM: Application Aware-Network Performance Monitoring\)](#)のレベルをさらに上げ、かつてない洞察と迅速なトラブルシューティングを実現します。コンピュウェアのソリューションによって IT オペレーションチームは、パッケージアプリケーションを含めた Web、ミドルウェア、データベース、ネットワーク各層で、アプリケーションパフォーマンスとエンドユーザの利用状態に影響をおよぼす欠陥を即时に特定できます。
- [Compuware APM Mobile Application Monitoring\(無償版\)](#)は、パフォーマンス分析、クラッシュ分析、利用状況分析を同一プラットフォームに統合しました。モバイル開発、テスト、運用各チームにとって、ビジネスに不可欠なネイティブモバイルアプリの最適化、トラブルシューティング、管理を容易にする、史上初かつ唯一のネイティブモバイルアプリ用のモバイルパフォーマンス管理ソリューションです。

Gartner 社の Magic Quadrant で、コンピュウェアは APM の 5 つの側面に関連する競争力の高いラインアップなど、Gartner 社の定める広範な基準を満たしイノベーションや実行力以外の分野でも市場リーダーと認められました(注 1)。

APM MQ リーダーシップについては[当社のブログ](#)をご覧ください。

(注 1) Gartner, Inc.: Magic Quadrant for Application Performance Monitoring(アプリケーションパフォーマンス監視についての Magic Quadrant)  
Jonah Kowall、Will Cappelli 共著、2013 年 12 月 18 日

(注 2) Gartner, Inc.: How to Cut Through Vendor Hype and Make Sense of the Availability and Performance Monitoring Market(ベンダーの過剰宣伝を避け、可用性とパフォーマンス監視における市場の意味を理解するには)  
Jonah Kowall 著、2013 年 7 月 29 日

(注 3) Gartner, Inc.: Hype Cycle for IT Operations Management , 2013(2013 年 IT オペレーション管理のハイプサイクル)  
Patricia Adams、MilindGovekar 共著、2013 年 7 月 23 日

## ■ Compuware APMについて

Compuware APMは、新世代のアプリケーションパフォーマンス管理のリーディングソリューションです。従来の APM ソリューションが、動作が重く、使いづらく、リアクティブであるのに対して、Compuware APM は軽く、使い易く、プロアクティブに問題に対処できるシステムです。Compuware APM は、モバイル、クラウド、ビッグデータ、SOA を含めた、複雑化する最新のアプリケーションを管理できるように作られています。大企業から中小企業まで 5,000 社を超える企業が、Compuware APM を利用し、数万におよぶアプリケーションを最適化し監視しています。企業は、実際のエンドユーザ体感を理解することにより、より洗練された分析機能、先進的な自動化、パフォーマンスライフサイクルの基礎を活用し、パフォーマンスの向上、プロアクティブな問題解決、アプリケーションリリースの短縮、アプリケーション管理コストの削減を実現しています。

APM市場におけるコンピュウェアのリーダーシップについては、[こちら](#)に詳しく記載されています(英語)。

## ■ コンピュウェアコーポレーションについて

コンピュウェアは、「The Technology Performance Company」として、顧客企業の持つ、最も中核にある革新的な技術について、パフォーマンスをより最適化することにより、顧客企業のビジネスを前進させるためのツールを提供します。

現在、世界的に最も大規模な組織の多くを含む、7,100 社以上の企業が、パフォーマンスをマネジメントするために、コンピュウェア社のその新世代アプローチを不可欠としています。

・米コンピュウェアコーポレーション <http://www.compuware.com>(英語)

・日本コンピュウェア株式会社 <http://jp.compuware.com/>(日本語)

コンピュウェアは、Twitter、Facebook などからも情報を配信しています。

・<http://twitter.com/compuware> (米国本社アカウント: 英語)

・[http://twitter.com/compuware\\_japan](http://twitter.com/compuware_japan) (日本コンピュウェアアカウント: 日本語)

・<http://www.facebook.com/Compuware> (米国本社アカウント: 英語)

・<http://outageanalyzer.com/> (Outage Analyzer: 英語)

## ■ お問い合わせ先

・報道関係の方

日本コンピュウェア株式会社広報事務局(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL:03-3291-0118、Email:[compuware@jc-inc.co.jp](mailto:compuware@jc-inc.co.jp)

・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュウェア株式会社営業部代表

TEL:03-5473-4531、Email:[marketingjapan@compuware.com](mailto:marketingjapan@compuware.com)

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。